

## 12月の農業情報

タイトル 東三河水田作技術研究会が6年ぶりに開催

とき 令和7年12月9日（火）

ところ JA豊橋研修棟

主体・対象 JA豊橋受託協議会、JAひまわり水田農業経営者部会、関係者など（43名）

### 内容

豚熱や新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見送ってきた東三河水田作技術研究会を、6年ぶりに開催しました。

本研究会の目的は、水稻専作農家と関係者の間で技術や情報を平準化することです。

今回のテーマは、近年課題となっている夏季の高温による収量・品質への影響とその対策です。研究会では、以下の内容について報告・調査を行いました。

- ・実証ほで確認した高温耐性品種の特性と、収量・品質向上を目指した肥料試験の結果
- ・高温耐性品種の育種状況
- ・実証ほで栽培した5品種の食味官能調査

食味官能調査では、栽培が増えつつある高温耐性品種「にこまる」が最も高い評価を得ました。続いて僅差で「コシヒカリ」が2位、「あいちのこころ」が3位となりました。



コメ5品種の食べ比べをする参加者